



倉橋っ子便り

10月号
令和3年10月6日

緊急事態宣言中の「レベル3」対応の学校生活 みんなでがんばりました 引き続き感染症対策を…



澄み渡った青空と爽やかな風、朝夕聞こえてくる虫の音に秋の訪れを感じます。2学期も10月に入り、子供たちは「実りの秋」を迎えようとしています。

8月27日（金）から続いていた広島県の「緊急事態措置」が9月30日（木）をもってようやく終了となりました。広島県の感染状況は「ステージⅡ」となりましたが、10月1日（金）～14日（木）は「緊急事態措置」終了後の新型コロナウイルス感染拡大防止集中対策期間として、引き続き基本的な感染拡大防止対策を徹底することが求められており、まだ気が抜けない状況です。学校では、先日お知らせしましたように、「学校の新しい生活様式」（文部科学省）の「レベル2」の行動基準や呉市教育委員会の方針を踏まえ、できる限りの感染症対策を講じながら子供たちの安全の確保と学びの保障に取り組んでまいります。

さて、緊急事態宣言中の9月、「レベル3」対応の学校生活は、様々な制約が強くなり、子供たちにとっては、窮屈な毎日であったことと思います。けれども、感染防止の三つの基本行動（身体的距離の確保・マスクの着用・手洗いの徹底）や三密の回避が日常化し、自分や仲間の安全を守るための行動を意識して生活できるようになりました。休憩時間も密集や接触を避けて工夫して遊んだり、距離を保ちながら静かに移動したり、時間をかけて丁寧に手洗いをしたりする姿がよく見られました。中でも特にがんばっていたのは、給食時間です。給食当番の子供たちは、どの学年も黙って距離をあけて給食を取りに行き配膳しています。そして、食事中は黙食で誰一人しゃべりません。ここまで徹底できる「倉橋っ子」はすごいと思います。

今後も皆で力を合わせて「レベル2」対応の学校生活を続けていきます。ご家庭でも引き続き学校の感染症対策へのご理解・ご協力をお願いいたします。



給食当番は黙って整列・移動・配膳



黙食の徹底



しっかり手洗い



掃除の後の振り返りもしっかりと距離を取って…

小中合同授業研究 子供たちも先生も学びが深まりました

倉橋学園では、一体型小中一貫教育校のよさを生かして、共通の研究主題「主体的に学び合う児童生徒の育成～豊かな対話を深い学びへつなぐ『しかけ』を通して～」のもと、小学校と中学校の教職員が子供たちに身に付けさせたい力を共有し、よりよい授業づくりを目指して合同で研究を続けています。「しかけ」とは、子供たちの思考を深めるための効果的な手立てのことです。

9月28日（火）は、5年生と7年生の授業を参観し学び合う合同授業研究を行いました。5年生は総合的な学習の時間の授業で、子供たちは、倉橋に船の種類が多い理由について考え話し合うことで、倉橋の自然環境のよさや人々の知恵、倉橋への思いの深さに気付いていきました。7年生は保健体育科の授業で、運動やスポーツの多様な楽しみ方について学び、生涯、健康に生活するためのスポーツライフの計画を立てました。いずれも、感染症対策のためグループワークはできませんでしたが、子供たちが主体的に学び合い、これからの生き方につながる授業でした。教職員も授業後、協議会をもち、発問や提示資料等の「しかけ」の効果や、子供たちの思考の深まりについて意見交流し、今後の授業改善につなぐことができました。広島大学大学院 准教授 木下 博義 先生にご来校いただき、子供たちの「主体的な学び」の姿や教師の「しかけ」について評価していただき、学びの多い有意義な時間となりました。

5年生は、分散型学習発表会で調べたことを発表する予定です。



5年生

授業研究

7年生

教職員による協議会

9年生から6年生へ 「あなたのハートに響く論語の言葉」

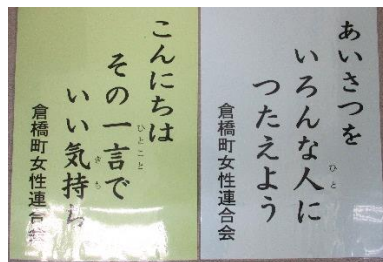
9年生が国語科で学習した「論語」の言葉について6年生に紹介するという授業を、オンラインで教室をつないで行いました。9年生は、「6年生にも分かりやすい『おすすめの論語』を紹介しよう」という目的意識をもって、論語について主体的に学び、その言葉の意味や自分が解釈したことについて、具体的な体験と結び付けながら分かりやすく紹介してくれました。6年生も「故きを温めて新しきを知る」「義を見てなさはるは勇無きなり」などの言葉の意味を考え、自分の経験と重ねながら聴いて、共感したり感動したりしていました。9年生の手作りの論語集のページを真剣な表情で捲りながら、心に響いた論語の言葉とその理由を書く姿が印象的でした。異学年との交流を通して、学びを深めることができるのも本学園ならではの「よさ」であることを実感しました。

「今汝は画れり」という論語が心に残りました。その意味のように自分で限界は決めずにいろいろなことにチャレンジしていきたいと思いました。【6年生児童の感想より】



挨拶標語 ～進んで挨拶ができる子に～

倉橋町女性連合会の皆様が「愛の一声運動」の一環として、明るく絆の強い地域社会づくりを目指して作成した「挨拶標語」を届けてくださいました。前期棟玄関の掲示板に掲示しています。また、校区では、地域の多くの方が交通安全指導に立ってください、子供たちに温かい声をかけ見守っていただいていることに、心から感謝いたします。学校の中だけでなく、地域においても、自分から進んで気持ちのよい挨拶ができる「倉橋っ子」であってほしいと願っています。



子供たちのがんばりを紹介します

「明德レッドブリッジ」呉大会優勝

明德小学校を基盤として、ソフトボールに励んでいる明德小学校・倉橋小学校・音戸小学校の子供たちがこの夏、第46回呉地区少年ソフトボール大会で優勝しました。本校では2, 4, 5, 6年の7名の子供たちが参加しています。明德小学校の校長先生が優勝旗と賞状を届けてくださったので、各教室を回って披露しました。日々の練習の成果が結果として表れ、自信と意欲につながりました。



安全ポスター入賞【6年生】



夏休みに6年生の山村愛海さん、上原美莉愛さん、尾濱風歌さん、片山れいなさん、作田稀美さん、林香里奈さん、前本沙羅さんが制作した安全ポスターが「第50回安全ポスター作品展」（呉市安全会議主催）で「音戸倉橋交通安全協会賞」を受賞しました。災害時の迅速で安全な避難行動を呼びかけたポスターです。10月23日（土）～29日（金）に音戸市民センターで展示されますので、機会があればぜひご覧ください。

童話大会出場

10月10日（日）に開催される、呉市小学生童話大会に、本校を代表して2年生の城山可帆さんが出場します。「あしたもともだち」（内山麟太郎）を覚えて、登場人物になり切って演じたり、情景を思い浮かべながら語ったりして、物語の素晴らしさを聴き手に伝えます。本番前に体育館で全学年の子供たちに練習の成果を披露しました。感染症対策のため分散し2回に分けて行いました。堂々と表情豊かに発表する姿に感動した子供たちは、よかったところや応援メッセージを進んで伝えていました。みんなの応援を力にして、本番でもがんばってほしいと思います。



★ お知らせとお願い ★

- 広島県への「緊急事態措置」終了に伴い、延期となっていた9月の行事を次の通り実施する予定です。
 - ・「道徳授業参観・学級懇談会」 11月 2日（火）5校時～
 - ・6年生「修学旅行」 11月29日（月）・30日（火）山口方面
- 本年度の学習発表会（10月16日（土）午前中）は分散型とし、学年ごとに時間を決めて教科等の学習の成果を発表するものとします。詳細については、別途お知らせいたします。
- ※ いずれも感染拡大防止対策を講じての実施となります。保護者の皆様には大変ご迷惑をおかけします。感染状況によっては、今後も行事等の中止・延期等の変更がありますことをご理解ください。